広報　2021.04　Vol.78

かけはしがわ

発行　国土交通省金沢河川国道事務所

水害対応の仕事を体験しませんか？

かわこくキッズになって洪水から街を守ろう!!

前川排水機場の3階に併設されている「梯川手づくり学習館」には、水害からまちを守る防災の仕事を模擬体験できるコーナーがあります。

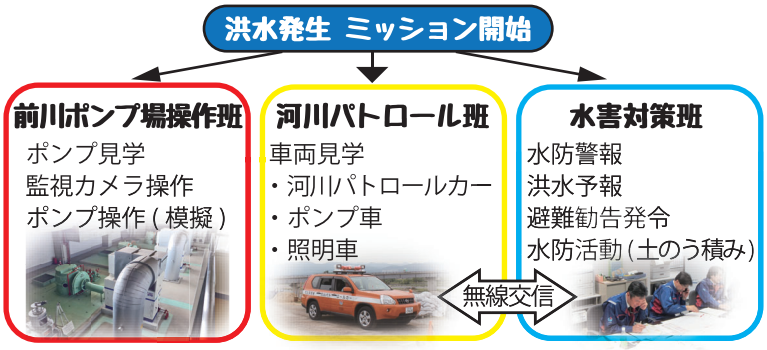
この体験コーナーでは、子どもたちが『国土交通省かわこくキッズ』に任命され、本番さながらの洪水対応を模擬体験します。

かわこくキッズは、「水害対策班」、「河川パトロール班」、「前川ポンプ操作班」に分かれ、3つの仕事をモニターに現れる架空の上司『梯守（かけはし まもる）』の指示に従い体験します。様々なミッションが記された『ミッションボード』に沿って、梯守がモニターを通じて指示を与えながら体験を進めます。

仕事体験が終了したら、洪水が起きそうなときに、「いつ、どこへ、どうやって」避難するかを考えるマイ・タイムラインの作成に取り組みます。

洪水時の仕事を知ることと避難行動について、子どもたち自身に考えてもらうことがこの体験学習のねらいです。

モニターから指令を出す梯守役は、テレビやラジオでおなじみの平山貴人さん



子どもたちは3班に分かれて、洪水時に働く人たちの仕事を体験します。役割分担や連携で洪水時のチームワークの大切さを学びます。

河川パトロール班

水害対策本部班とのトランシーバー交信体験や災害時にはたらく車（パトロール車、排水ポンプ車、照明車）の見学を行います。

水害対策班

国土交通省と小松市の仕事である水防活動及び住民への避難勧告等の発令体験、河川パトロール班とのトランシーバー交信体験、土のう積み体験を行います。

マイ・タイムライン作成

仕事の体験の後に、「マイ・タイムライン」作成を通して学習し、災害発生時における避難行動について子どもたち自身が考えます。

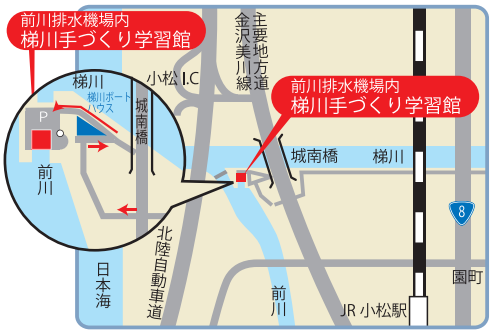
前川ポンプ操作班

前川ポンプ場の役割を学習し、水門ゲート操作やポンプ操作といった模擬排水操作体験を行います。

総合学習や防災教育にいかがでしょうか？

水害対応の仕事を体験することで、子どもたちの防災に対する意識を高め、また、洪水時に働く人たちについての理解が深まります。

梯川は6月15日から出水期に入り、梅雨前線や台風などに伴う豪雨が発生しやすい時期になります。出水期を前に、防災について勉強する機会としてはいかがでしょうか。



梯川手づくり学習館（前川排水機場内）
開館時間　平日 9:00 ～ 16:00
入 場 料　無料
お問合せ　小松出張所 TEL　0761-23-4000
新型コロナウイルス感染拡大防止のため完全予約制となっております。

令和3年度　梯川河川改修事業の概要

水の郷こまつ梯川緊急治水対策プロジェクト

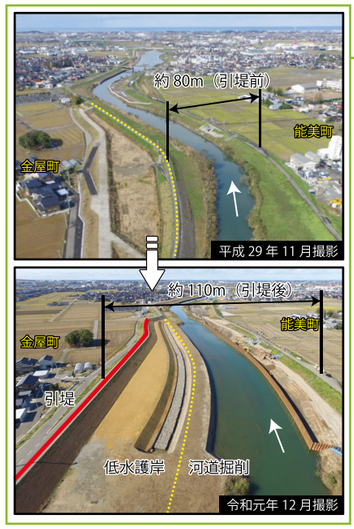
梯川は、昭和46年の一級河川指定以降、大規模な河道拡幅（引堤）や河道掘削工事を進めており、洪水に対する安全度を向上させてきました。平成29年度までに河口から白江大橋までの引堤が完了しました。

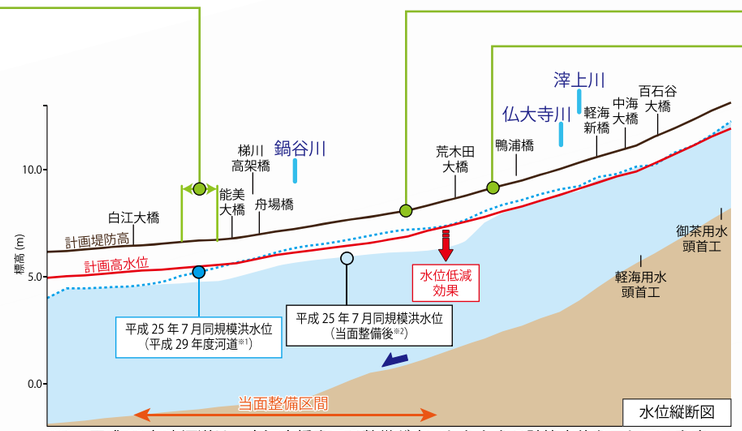
近年、全国的に大規模水害が発生しており、梯川においても治水安全度の向上は、早急に対処すべき課題となっています。特に洪水時の水位上昇が著しい白江大橋（河口から約6㎞）から荒木田大橋（河口から約9㎞）までの一連区間について平成30年度より「水の郷こまつ梯川緊急治水対策プロジェクト」として、重点的に河川改修を実施しています。

プロジェクトにより期待される効果

白江大橋から荒木田大橋までの河川改修により、観測史上最高水位を記録した平成25年7月と同規模の洪水が発生しても、安全に洪水を流下させることができるようになります。

【平成25年7月洪水と同規模の洪水を安全に流下】





※1　平成29年度河道は、白江大橋までの整備が完了したときの計算水位を示しています。
※2　当面整備区間が完了したときの計算水位を示しています。

水の郷こまつ 梯川緊急治水対策プロジェクト

プロジェクトの進捗状況

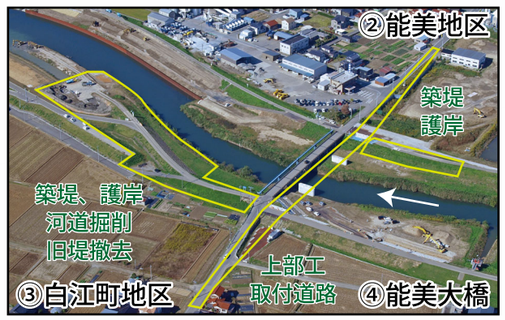
（令和2年度末時点）

堤防整備	45%	1,450m完成
能美大橋	70%	下部工完成
河道掘削	46%	約124,000㎥掘削

0　100%

令和3年度の事業計画

白江大橋より上流において、河幅を広げるための築堤工事や護岸工事、樋管工事、用地取得などを行います。また、昨年度に引き続き、能美大橋の架替え工事を推進します。



流域治水がスタートします

近年、全国各地で水災害が激甚化・頻発化しており、今後も気候変動の影響により降雨量の増加が見込まれます。『流域治水』とは、ダムや堤防だけに頼らず、流域全体で氾濫をできるだけ防ぐ・減らす対策や、被害を減少させるための対策を進めていくものです。

梯川においても、河川管理者だけでなく、国・県・市の関係者、電力会社等、流域のあらゆる関係者により構成する「手取川・梯川水系流域治水協議会」を設立しており、流域における対策の共有、連携体制の構築・強化を目指します。

自然環境も調べています

底生動物調査を実施

毎年実施している河川水辺の国勢調査において、令和2年度は底生動物の調査を実施しました。

『底生動物』は馴染みのない言葉かもしれませんが、川や池の底に住むエビやカニ、貝、水生昆虫の総称です。水の温度や流れの速さ、水質によって住んでいる種類が異なることから、河川環境を評価する指標にもなります。夏休みに実施している小学生による底生動物調査では、捕獲した種による水質判定も行っています。

平成6年から続く6回の調査で、梯川では336種の底生動物を確認しています。これらの調査結果は、梯川の河川改修を行う際に、工事が自然環境に与える影響を小さくするための工法や工事時期といった配慮事項を検討する基礎資料となっています。

梯川で確認した底生動物

また、学識経験者や有識者からなるアドバイザーへの相談や意見聴取、合同会議を実施し、環境に配慮しながら河川事業を進めています。

令和３年度 河川愛護モニター 募集中

金沢河川国道事務所では、河川整備や河川利用、河川環境に関する地域の声を聞かせていただくために、毎年河川愛護モニターの募集を行っています。

○活動内容
①手取川または梯川に対する意見報告。モニターご自身の河川愛護に関する活動報告（毎月）
②金沢河川国道事務所の河川事業やイベントなどに対する感想や意見報告（随時）
③手取川または梯川に関する情報提供（随時）

○募集人員
手取川、梯川それぞれ２名ずつ

○お申込み・お問い合わせ先
金沢河川国道事務所　河川管理課　TEL：076-264-9916　FAX：076-233-9612
応募用紙はホームページから印刷できます https://www.hrr.mlit.go.jp/kanazawa/river/monitor/index.html

○任期
令和３年７月１日から令和４年６月30日まで

○応募資格
手取川（河口から白山合口堰堤までの区間）または梯川（河口から御茶用水頭首工までの区間）の付近にお住まいで、満 20 歳以上の河川愛護に関心のある方

○応募締切
令和３年５月31日（月）（郵送の場合５月31日必着）

○その他
河川愛護モニターの方には、金沢河川国道事務所より薄謝を進呈いたします。

進んでいます 梯川の工事

能美大橋の下流右岸の一針地区の築堤護岸工事が完了しました。川田川樋管の改築工事とあわせて、この区間の堤防が完成しました。

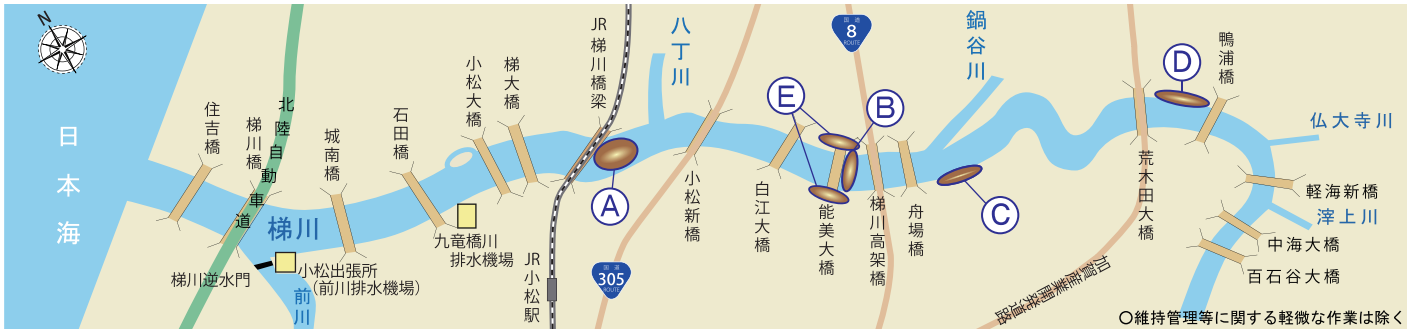
現在は、小松地区の河道掘削、能美大橋の上部工事、千代地区の低水護岸工事等を施工中です。

工事の進捗

現在、以下に示す改修工事が施工中（Ⓐ～Ⓔ）となっています。

○施工中の工事【引き続きご迷惑をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いします】

番号	工　事　名	工　　期	受注者
Ⓐ	R2梯川小松地区河道掘削工事	令和 2 年 8 月 27 日 ～ 令和 3 年 5 月 28 日	株式会社　丸西組
Ⓑ	R2・3梯川能美大橋上部工事	令和 2 年 9 月 1 日 ～ 令和 3 年 7 月 30 日	川田工業株式会社
Ⓒ	R2梯川千代低水護岸工事	令和 2 年 10 月 2 日 ～ 令和 3 年 9 月 13 日	株式会社　丸西組
Ⓓ	R2梯川埴田築堤他工事	令和 2 年 10 月 3 日 ～ 令和 3 年 5 月 31 日	株式会社　江口組
Ⓔ	R2梯川金屋築堤及び小松市道改良他工事	令和 3 年 4 月 1 日 ～ 令和 4 年 3 月 26 日	石川建設工業株式会社



ご意見・お問い合わせ先

国土交通省金沢河川国道事務所調査第一課　TEL076-264-8800（代表）
小松出張所　TEL0761-23-4000
ホームページ　https://www.hrr.mlit.go.jp/kanazawa/
メールアドレス　kanazawa-bousai1@hrr.mlit.go.jp
ツイッター　https://twitter.com/KanazawaBousai1

広報「かけはしがわ」は、ホームページでもご覧いただけます。なお、ご意見等がございましたら上記のメールアドレスへお送りください。

国土交通省　北陸地方整備局　金沢河川国道事務所

環境にやさしい植物油インキを使用しています　VEGETABLE OIL INK